

平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月24日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川上 陽介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-3710-2985
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日~平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,008	24.1	47	—	35	—	17	—
26年12月期第1四半期	812	△29.5	△66	—	△74	—	△64	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 18百万円(—%) 26年12月期第1四半期 △66百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	2.58	2.55
26年12月期第1四半期	△9.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	4,063	2,382	57.5
26年12月期	3,969	2,362	58.4

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 2,335百万円 26年12月期 2,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日~平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,132	48.3	△59	—	△75	—	△91	—	△13.70
通期	4,349	13.7	181	81.5	148	58.1	125	108.5	18.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期 1 Q	6,647,375株	26年12月期	6,647,375株
② 期末自己株式数	27年12月期 1 Q	2,325株	26年12月期	1,885株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期 1 Q	6,645,239株	26年12月期 1 Q	6,643,812株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年3月31日)における我が国経済は、円安傾向の継続による一部企業の収益押上げや消費増税先送り等により緩やかな回復基調で推移しております。しかしながら、不安定な国際情勢、原材料価格の上昇等の影響により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは「デジタル“ものづくり”」の応援と支援を経営理念に掲げ、イラスト、アニメ、マンガをはじめとするグラフィクスコンテンツや、デジタル機器のユーザーインターフェースのデザイン等、一般個人の趣味からプロフェッショナル仕様に至るまで幅広くデジタルでの“ものづくり”を支援する企業グループであります。デジタルによるコンテンツの制作と利用が一般に普及する社会において、引き続き重要なポジションを担い続けられるよう、当社グループの強みであるグラフィクス関連技術とサービス開発の相乗効果を追求する事業活動を推進しております。

当連結会計年度におきましては、前期より黒字化したクリエイターサポート事業、前期中に株式会社エイチアイ関西及び株式会社U'eyes Designを孫会社化したUI/UX事業を中心に注力し、販売・営業活動の推進や提供サービスの拡充を図りながら、引き続き経営体質強化に努めてまいりました。

その結果、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は1,008,661千円(前年同期比24.1%増)、営業利益は47,833千円(前年同期は66,019千円の営業損失)となりました。

また、経常損益につきましては、支払利息3,624千円、持分法による投資損失7,195千円を計上したこと等により、35,624千円の経常利益(前年同期は74,066円の経常損失)となりました。純損益につきましては、投資有価証券売却損10,546千円の計上等により、17,186千円の四半期純利益(前年同期は64,320千円の四半期純損失)となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業の中心である携帯電話市場におきましては、平成26年12月末で国内携帯電話加入契約数が1億4,505万台(前年比6.2%増)となっております。(社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より)また、平成26年12月末における国内のスマートフォン契約数の占める割合は、フィーチャーフォンとスマートフォンの合計契約件数の52.3%と過半数を超える等、スマートフォンの普及が拡大しておりますが、平成26年1月から12月の1年間における出荷台数状況を見ますと、スマートフォンは前年比で5.3%減少、フィーチャーフォンが5.7%の増加となっております。(株式会社MM総研発表より)

このような経営環境の中、電子書籍ビューア「BS Reader for Browser」を利用して、株式会社アムタスの電子書籍配信サービス「めっちゃコミック」でライトノベルの配信が開始されました。なお、「BS Reader for Browser」が利用されている電子書籍配信サービス数は、平成27年3月末では910サービス超となっております。

以上の結果、総合電子書籍ビューア「BS Reader」を軸として推進するコンテンツソリューション事業の売上高は272,724千円(前年同期比5.5%減)、営業利益は13,753千円(前年同期比86.7%増)となりました。

<クリエイターサポート事業>

当第1四半期連結累計期間では、ペイントソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」の出荷本数が累計100万本を超える等、初心者からプロのクリエイターまで幅広いお客様にご利用いただけるソフトウェアとなりました。また、英語版・中国語版・フランス語版・スペイン語版を海外向けに販売、出荷本数の35%が国外のクリエイターにご利用いただいております。

なお、クリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」においては、平成27年3月末時点の登録者数は50万人となっております。

以上の結果、売上高は212,564千円(前年同期比23.0%増)、営業利益は32,140千円(前年同期は449千円の営業利益)となりました。

<UI/UX事業>

当第1四半期連結累計期間では、「デザインエンジニアリング」をテーマに、自動車(四輪・二輪)関連分野を筆頭に、株式会社エイチアイが開発した、次世代UIオーサリングツール「exbeans UI Conductor(エックスビーンズユーアイコンダクター)」の販売活動に注力すると共に、更なる構造改革と受託開発及び製品保守サポート案件における製造原価の削減を推進しております。

また、株式会社エイチアイ関西は前連結会計年度の第2四半期から、株式会社U'eyes Designは同第3四半期からそれぞれ孫会社としているため、当第1四半期連結累計期間につきましては2社合計で272,487千円、前年同期より売上高が増加しております。

以上の結果、売上高は515,145千円(前年同期比69.2%増)、営業損益は527千円の営業利益(前年同期は99,921千円

の営業損失)となりました。

<アプリケーション事業>

アプリケーション事業につきましては事業縮小を進めており、売上高は8,226千円(前年同期比82.4%減)、営業損益は594千円の営業損失(前年同期は15,565千円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて93,486千円増加し4,063,461千円となりました。この主な要因は、ソフトウェアが58,478千円、投資有価証券が17,719千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が50,559千円、仕掛品が50,215千円、ソフトウェア仮勘定が86,596千円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて74,264千円増加し1,681,436千円となりました。この主な要因は、買掛金が43,483千円、未払法人税等が15,224千円、長期借入金が28,833千円減少した一方で短期借入金が207,953千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて19,222千円増加し2,382,025千円となりました。この主な要因は、新株予約権が1,778千円、利益剰余金が17,186千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、57.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の連結業績予想につきましては、平成27年2月6日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,086,746	1,072,278
受取手形及び売掛金	880,145	930,705
製品	13,135	9,990
仕掛品	63,502	113,717
原材料及び貯蔵品	60,899	50,787
その他	126,707	142,392
貸倒引当金	△16,381	△13,104
流動資産合計	2,214,755	2,306,768
固定資産		
有形固定資産		
建物	125,714	125,834
減価償却累計額	△85,389	△87,029
建物(純額)	40,325	38,805
工具、器具及び備品	241,945	245,012
減価償却累計額	△210,718	△214,274
工具、器具及び備品(純額)	31,227	30,738
有形固定資産合計	71,552	69,543
無形固定資産		
ソフトウェア	917,595	859,117
ソフトウェア仮勘定	241,832	328,428
のれん	134,174	126,137
その他	32,774	31,924
無形固定資産合計	1,326,376	1,345,607
投資その他の資産		
投資有価証券	111,991	94,271
敷金及び保証金	201,394	194,325
その他	38,424	48,074
投資その他の資産合計	351,810	336,671
固定資産合計	1,749,740	1,751,822
繰延資産	5,478	4,870
資産合計	3,969,974	4,063,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,822	168,339
短期借入金	406,214	614,167
1年内返済予定の長期借入金	151,798	155,175
未払法人税等	23,978	8,753
返品調整引当金	3,149	1,724
賞与引当金	83,656	72,621
その他	360,599	319,407
流動負債合計	1,241,218	1,340,188
固定負債		
長期借入金	276,203	247,370
退職給付に係る負債	80,443	84,669
繰延税金負債	1,275	1,176
その他	8,031	8,031
固定負債合計	365,953	341,247
負債合計	1,607,172	1,681,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,003,158	1,003,158
資本剰余金	482,285	482,285
利益剰余金	832,467	849,654
自己株式	△958	△1,382
株主資本合計	2,316,952	2,333,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296	1,421
その他の包括利益累計額合計	1,296	1,421
新株予約権	34,142	35,921
少数株主持分	10,410	10,967
純資産合計	2,362,802	2,382,025
負債純資産合計	3,969,974	4,063,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	812,590	1,008,661
売上原価	592,532	635,983
売上総利益	220,057	372,677
返品調整引当金戻入額	8,292	3,149
返品調整引当金繰入額	9,474	1,724
差引売上総利益	218,875	374,102
販売費及び一般管理費	284,894	326,268
営業利益又は営業損失(△)	△66,019	47,833
営業外収益		
受取利息	362	145
その他	67	1,093
営業外収益合計	430	1,239
営業外費用		
支払利息	2,233	3,624
為替差損	2,971	894
持分法による投資損失	1,110	7,195
その他	2,161	1,735
営業外費用合計	8,477	13,448
経常利益又は経常損失(△)	△74,066	35,624
特別利益		
新株予約権戻入益	101	—
負ののれん発生益	13,849	—
特別利益合計	13,951	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	10,546
特別損失合計	—	10,546
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△60,115	25,077
法人税等	4,205	7,194
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△64,320	17,883
少数株主利益	—	696
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△64,320	17,186

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△64,320	17,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,718	125
その他の包括利益合計	△1,718	125
四半期包括利益	△66,039	18,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△66,039	17,312
少数株主に係る四半期包括利益	-	696

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート 事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	288,728	172,786	304,438	46,637	812,590	—	812,590
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	181	—	—	181	△181	—
計	288,728	172,967	304,438	46,637	812,771	△181	812,590
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	7,366	449	△99,921	15,565	△76,539	10,520	△66,019

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社株式会社エイチアイが、株式会社エイチアイ関西の株式を取得し子会社化したことに伴い、UI/UX事業において負ののれん発生益13,849千円を特別利益に計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート 事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	272,724	212,564	515,145	8,226	1,008,661	—	1,008,661
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	—	—	—	28	△28	—
計	272,753	212,564	515,145	8,226	1,008,689	△28	1,008,661
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	13,753	32,140	527	△594	45,827	2,006	47,833

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。